

No. 6 「実験・構造解析と構造デザイン」

場：新宿校舎3階アーバンテックホール 273名収容可
所：新宿区西新宿1-24-4、新宿駅西口より徒歩5分

工学院大学工学部建築系学科は、2011年4月から工学院大学建築学部になります。



風洞実験装置

風洞実験対象都市模型供試体



送電鉄塔の強風被害



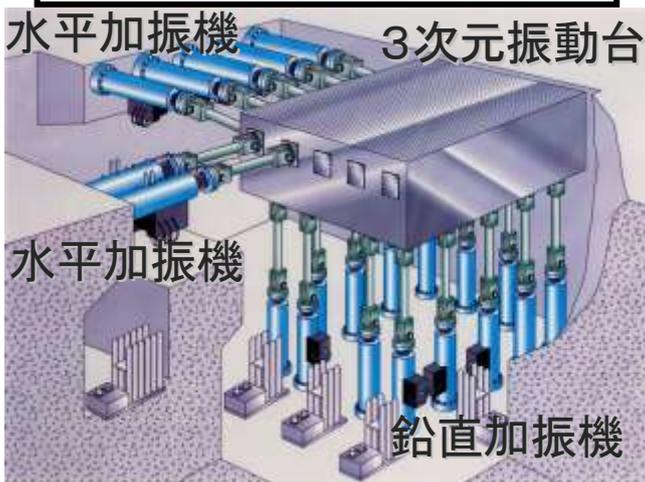
内容と予定時間
12月4日(土)

聴講は無料です。

- 12:30 受付開始
- 13:00 開講の挨拶
後藤治(本学建築学科主任教授)
- 13:03 司会・主旨説明:宮澤健二
(本学建築学科教授・本学OB)
- 13:10 強風災害・風洞実験ってなにに
田村幸雄(東京工芸大学教授)
- 14:00 地震動・震動台ってなにに
佐藤栄児((独)防災科学技術研究所・主任研究員)
- 14:50-15:00 休憩
- 15:00 コンピュータ構造解析で何ができるの
山田貴博(横浜国立大学・教授)
- 15:50 質疑・討論
- 16:00 終了

・公開講座は12月17日迄全7回の連続講座です。
・次回は12月17日(金)17:00~3階アーバンテックホール。
・インターネットライブ放送も予定しています。詳細案内は、下記参照下さい。
<http://www.ns.kogakuin.ac.jp/~wwd1041/>

(独)防災科学技術研究所・E-ディフェンス震動台

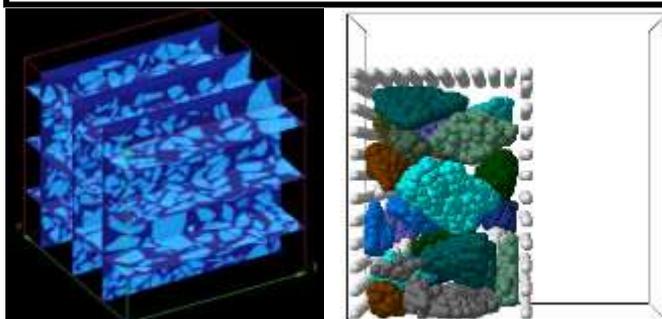


実大構造物の震動台実験

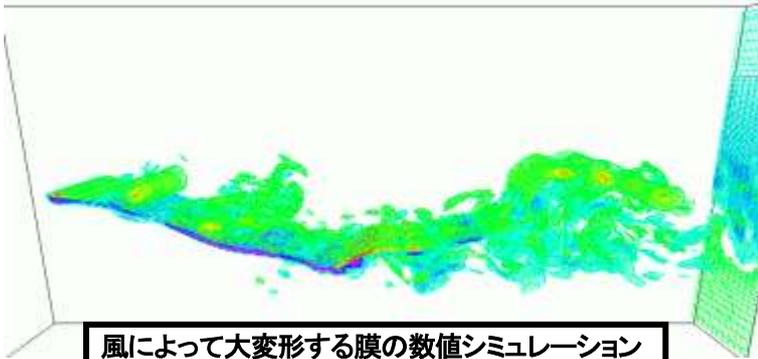


建築における構造設計の果たす役割は大きい。そして構造デザインには、構造設計者の感性、経験と豊富で高度な構造理論が必要である。しかし、構造物への作用荷重である風や地震力は複雑で、実験的手法が求められることがある。また、最適形状決定、構造性能評価や構造設計にコンピュータ解析やシミュレーション・CGが多用される。本講座では、これらの諸問題を学ぶ。

地盤材料(礫)の3次元画像に基づく数値シミュレーション



風によって大変形する膜の数値シミュレーション



- 田村幸雄 '71年早稲田大学大学院修士課程修了。東京工芸大学、工学博士、教授。ノートルダム大学(米国)、浙江大学(中国)他客員教授等。
'93日本建築学会賞、'94日本風工学会賞、'04米ASCE Jack E. Cermakメダル、'04日本風工学会会長、'07~国際風工学会会長
- 佐藤栄児 '98名古屋大学大学院修士課程修了、修士(工学)、'98(独)防災科学技術研究所、'09博士(工学)、兵庫県三木市の世界最大の3次元振動実験施設を用い、多くの耐震工学の研究に関わっている。主な研究に免震構造及び制御工学に関する研究などがある。
- 山田貴博 '88東京工業大学大学院修士課程修了、'91東京大学博士課程修了、学術博士。九州工業大学、東京工業大学、東京理科大学を経て横浜国立大学環境情報研究室、教授。'93スタンフォード大学客員研究員。有限要素法を中心とした数値計算法の開発と評価の研究。